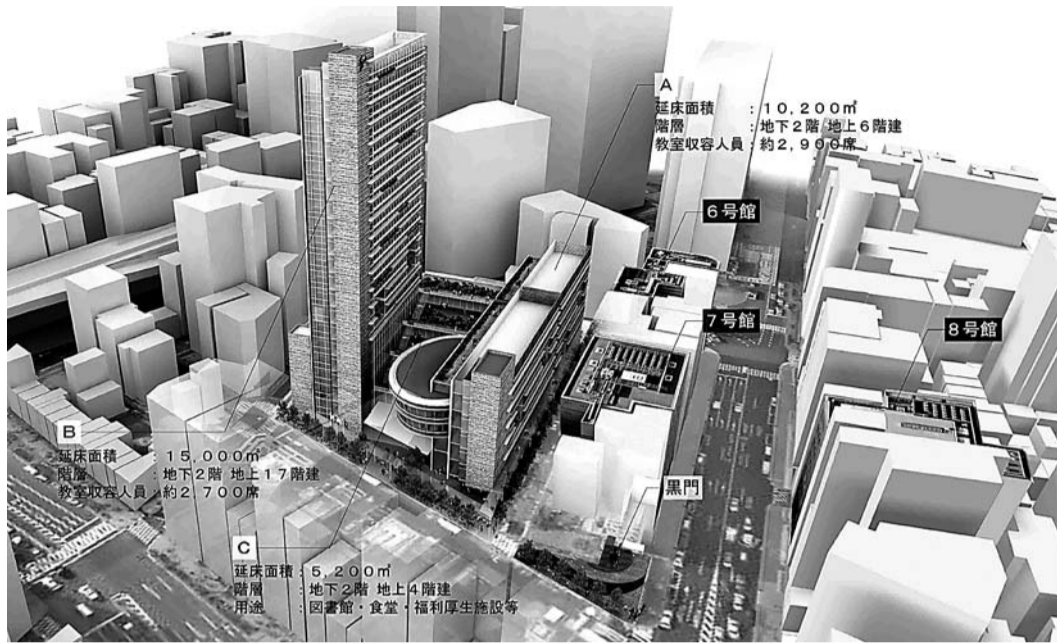


キャンパス構想の試案について

学校法人専修大学理事長 日高 義博



延床面積 : 10,200㎡
階層 : 地下2階/地上6階建
教室収容人員 : 約2,963席

延床面積 : 15,000㎡
階層 : 地下2階/地上17階建
教室収容人員 : 約2,700席

延床面積 : 5,200㎡
階層 : 地下2階/地上4階建
用途 : 図書館・食堂・福利厚生施設等

神田キャンパス 建築面積の増と省エネ

建物A B Cの建築可能な合計面積は、現行法規で約30,400㎡となり、既存神田校舎の1・2・3号館より概ね4,800㎡増加します。神田校舎については授業やほかの大学業務を出来る限り残しながら工事を行う手法を採ることが可能であり、解体した部分に新

築し、次の解体を行い、順次これを繰り返して建築することができます。省エネ対策としては、雨水・地下水の利用や太陽光発電など立地条件において利用可能な自然エネルギーを最大限利用できます。

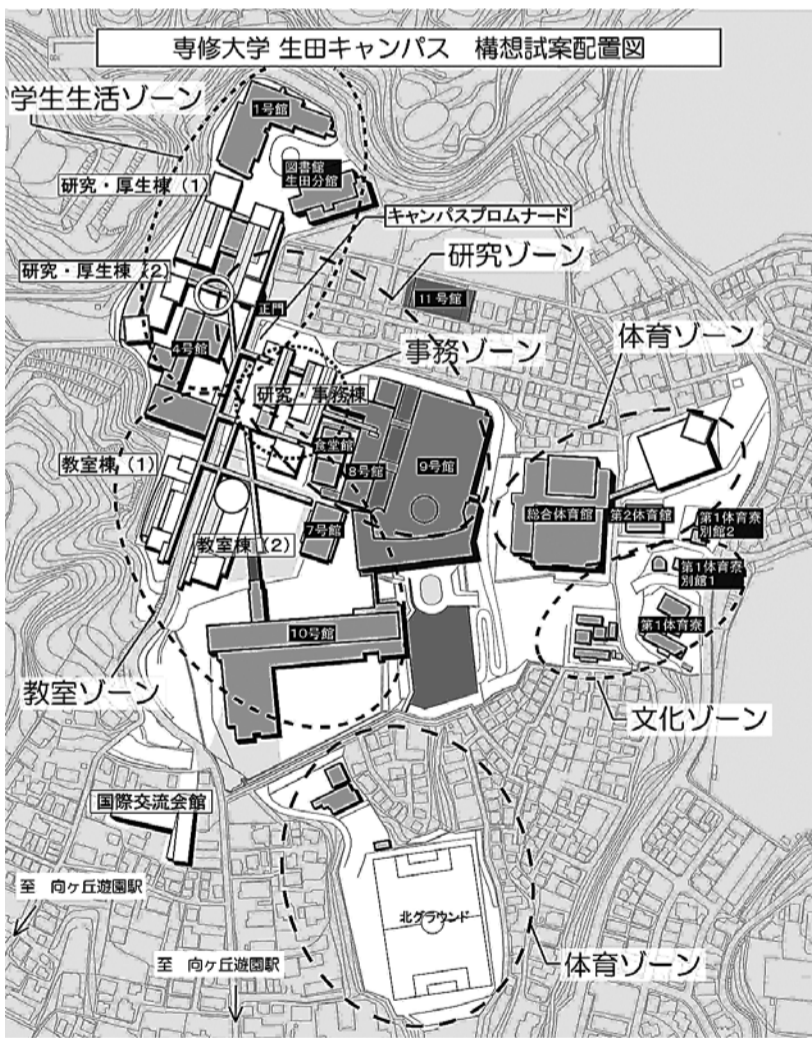
二ノ専修1月15日号の年頭所感で申し上げましたが、ここにキャンパス構想の試案を提示致します。キャンパス構想については理事会においても検討されてきましたが、まだ確定稿を出せるに至っておりません。今回はあくまでも試案の提示であることをご承知おきください。

18歳人口のさらなる減少や、それに伴う学部の収容定員の変動などが予測される中において、キャンパス構想を実現するには、財政基盤を強固なものにしておくことが必要です。解決しなければならぬ問題も山積みです。変

動線の確保とゾーニングの設定に基づく校舎の配置が必要になっていきます。キャンパス整備のハードの問題は、どのような教育を行うのかというソフトの問題と連動してまいります。まずは、神田キャンパス及び生田キャンパスの現在の校地を前提にした場合に、どの程度の規模の建物を配置

することが可能なかを認識しておく必要があります。この点に焦点を当て、次のようなキャンパス構想の試案を検討の「たたき台」として提示することに致しました。今後、多方面からの検討を加えながらキャンパス構想を練り上げ、創立150年に向けて、計画的かつ段階的にキャンパス整備を進めて行きたいと考えています。

今回の試案は、キャンパス整備を行う上での一つの例に進捗については、キャンパス整備に関するプロジェクトなどを立ち上げていきたいと思



生田キャンパス 緑豊かな環境と機能性

試案は、現在の学生数や教職員数を基に、大まかなゾーニングを設けたうえで、現在の用途面積を前提として主要な建物を配置してみたものです。個々の建物の用途や規模など、検討すべき事柄は多々あり、詳細は詰められて

いません。生田校舎は建物数が多く、新旧の建物が散在しておりますので、まずはゾーニングを策定し、動線を確保したうえで建て直しを行う必要があります。試案では、学生の動線をスムーズにし、機能的で安全なキャンパスに生まれ変わることを念頭にしています。

生田校舎は建物数が多く、新旧の建物が散在しておりますので、まずはゾーニングを策定し、動線を確保したうえで建て直しを行う必要があります。

緑豊かな環境を生かした優しいキャンパスとなるよう、自然エネルギーを利用して、コストの低減を図ることも考えています。

専修人の新しい本

イギリスの性教育政策史
自由化の影と国家介入

広瀬 裕子著

子どもに「性」をどう教えるかという問いを、サッチャー政府は国策として考

冤罪はいつまで続くのか

矢澤 昇治編著

専修大学今村法律研究室を中心に公開シンポジウムを3回にわたって開催し

転換点にきた学校選択制

嶺井 正也編著

日本における公立小・中学校選択制の実態調査を踏まえた著作の三作目。セミ生が執筆に加わっている

の1冊だといつよい。

「性」を学校教育で扱うことには賛否がある。公権力が私的領域に干渉するから、実のところ支持母体の保守層を反対勢力として進

現したのが本書だ。「袴田事件」「狭山事件」「布川事件」など取り上げた事件は10件を超えた。

が今回の特徴。学校選択制を本格的に導入した品川区・足立区・広島市などの定点観測だけでなく新しく那覇市の分析も行っている

今村法律研究室長

編著者(みねい・まさや)は経営学部教授。主な担当は教育原論